

経営比較分析表（令和元年度決算）

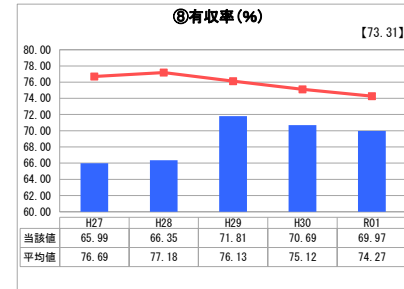
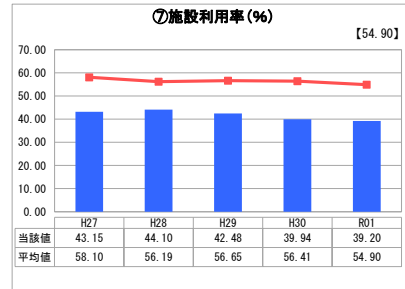
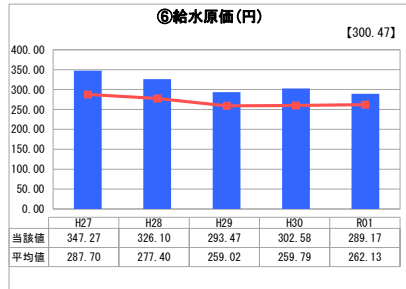
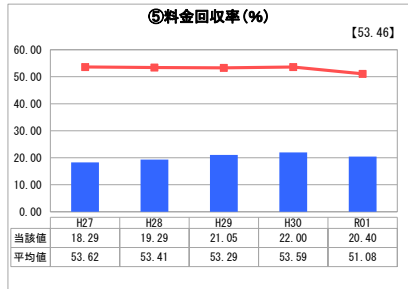
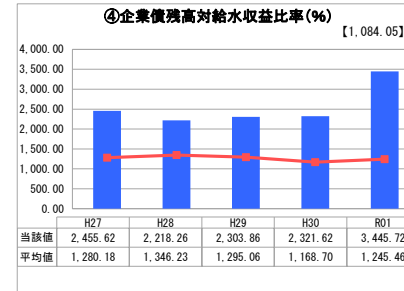
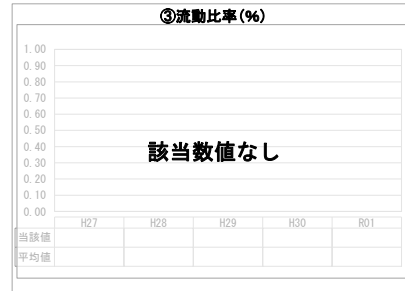
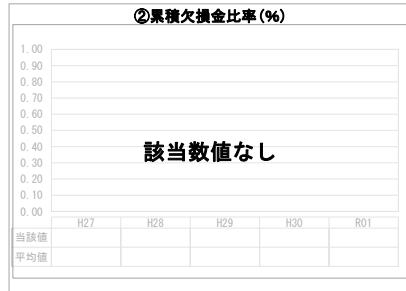
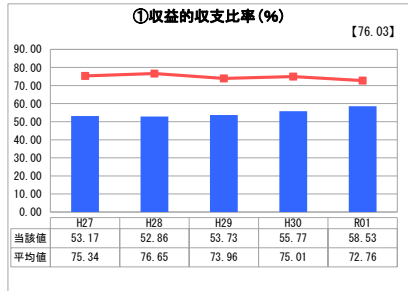
石川県 白山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	4.80	987	

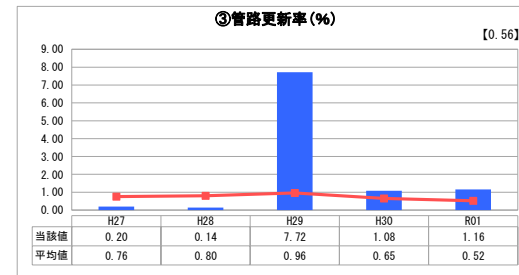
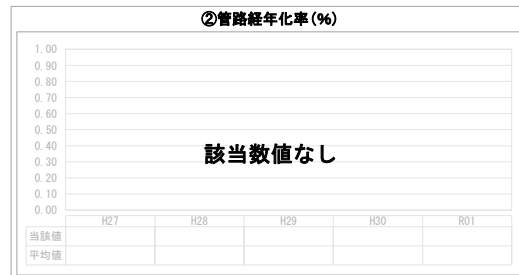
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
113,715	754.93	150.63
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,456	14.04	388.60

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

白山ろく地区における料金収入は、人口減少と節水型設備の普及の影響により減少傾向である。どの指標も類似団体の平均を下回っており、料金回収率については類似団体の半分以下である。

また、企業債残高対給水収益比率は、水道施設統合整備事業に伴う市債発行の増額を受け令和元年度に急増しており、健全な経営状況とは言えない。

2. 老朽化の状況について

昭和後期に建設された施設のため老朽化や破損が進行しており、随時更新を余儀なくされているが、平成29年度より白山ろく簡易水道施設統合整備事業を開始し、計画的な更新を進めているところである。

全体総括

今後は、老朽施設の統廃合及び更新事業を着実に進めていくとともに、適正な料金体制による事業運営に努める必要がある。

なお、令和2年4月の公営企業化に伴う水道事業への会計統合により、令和3年4月使用分から料金の段階的な値上げを行う予定である。